

「屈斜路湖OWS」安全基準

第1 安全基準(中止基準)について

- 1 レースの中止基準 ～ 次に掲げる条件の場合は中止します。
 - (1) 屈斜路湖の水温が16℃未満の場合
 - (2) 風速が10m以上あるか、それに同等するような白波が立ったり強風が吹く恐れがあり危険と判断される場合
 - (3) 雨や霧等により著しく視界が悪い場合や、雷などにより選手の安全が確保できないと判断された場合
 - (4) 台風・地震など自然災害が発生した場合
 - (5) その他、競技委員長が選手の安全を第一と考え無理だと判断した場合
- 2 安全対策について
 - (1) 屈斜路湖オープンウォータースイムレースでは、OWS競技を熟知したライフセーバー及び水上安全赤十字奉仕団の皆様の協力を得、水上バイク・レスキューボード・モーターボート等を配置します。
 - (2) 大会本部からコース全体を見渡し、大会本部と各所に配置した係員と常時無線機で連絡を取りながら、警戒にあたります。
 - (3) 競技中は、本部に救急車と医療従事者が待機しています。
- 3 競技と中止の判断について
 - (1) この大会は、自然の中で行う競技のため、自然環境の影響を受けることをご了解ください。
 - (2) この大会は、雨天でもレースは決行しますが(公財)日本水泳連盟『安全対策ガイドライン』に従い、地震や台風などの自然災害による高波や強風、異常低温等によってレース実施が不可能と判断された場合は中止となります。またそれに準じて、警察、消防等による中止勧告があった場合は大会を中止させていただきます。なお、その場合に伴う、エントリー料の払い戻しは行いません。
 - (3) 前日から確定される中止……明らかに台風が直撃する場合、前日からホームページやフェイスブックで中止をお知らせします。
 - (4) 雨天や風等天候不順の場合……屈斜路湖の波の状況も確認の上、距離短縮で開催するか、中止するかを判断を行います。中止が確定した場合、その時点でホームページやフェイスブックにて掲載しますが、レース当日朝6時ギリギリまで天候回復を待つことがあります。

第2 競技種目とコース・安全上の制限タイムについて

- 1 種目は、400m、800m、1km、5kmとします。なお、天候等の影響を受け、コースや距離が変更になる場合があります。
- 2 400mは、湖岸沿いに作られた200mの直線コースをコースロープの右側を泳ぎ、ターンブイを左回り(時計と反対方向)で回り1往復します。同様に、800mは同じコースを2往復します。
また、1kmは長方形に作られた1周500mのコースを左回り(時計と反対方向)で2周、5kmは同じコースを10周します。
- 3 安全上の基準タイムについて
 - (1) 本大会は参加者全員が安全にレースを終了するための、安全基準タイムを設けます。
 - (2) 安全基準タイム以内でも、指定された時間内にゴールできないと判断した場合は、退水を告知する場合があります。この告知は、湖上ではライフセーバーが行います。

- (3) 安全基準タイムをオーバーしても、その参加者が安全に確実にゴールできると競技役員が判断した場合は、そのままレースを続けることができます。安全タイムによる、途中棄権か続行かの判断はあくまで競技役員に委ねられています。
- (4) 本大会の各種目の基準タイムは以下の通りです。

距離	安全基準タイム
400m	15分以内
800m	25分以内
1 km	35分以内
5 km	2時間10分以内

第3 受付、スタート方法およびゴールについて

1 受付（各種目共通）

- (1) 参加申込書、誓約書、健康問診票、参加同意書（未成年）を回収します。
- (2) 色別のスイミングキャップ（いずれもFサイズ）を配付します。
 ア 色は、種目別・男女別に指定します。
 イ 両側に選手番号を記入してください。※黒色油性マジックインク。
- (3) 選手番号を表示した計測バンド（腕時計型）を2個貸与します。ゴール後直ちに回収します。
 ア 左右の手首にしっかりとはめてください。
 イ ズレ落ちる恐れがある場合や動く場合は、ビニールテープで固定してください。
 ウ 紛失等の場合は、実費弁償して頂きます。
- (4) 両肩に選手番号を記入します。※黒色の油性マジック。

2 招集（種目別）

- (1) **ADカード**を預かります。 ※ゴール後返却
- (2) 計測バンドの固定状態と選手番号を確認します。 ※ゴール後回収
- (3) スイミングキャップと両肩の選手番号を確認します。

3 スタートは、コースロープに掴まっの水中スタート方式を採用します。

- (1) 種目別に男女時差スタート、出場者50名までを一斉スタートとします。50名を超えた場合には選手の安全確保のため、分割スタート方式とします。分割スタートについては、会場の状況により競技委員長が判断します。
- (2) スタート合図は、エアホーンで行います。
- (3) フライイングは1回で失格となります。レースのやり直しは行いません。

5 途中棄権等

競技中にアクシデントが発生した場合は、直ちに、手を挙げて近くのライフセーバー等に助けを求めてください。疲労等による場合も同様です。

6 周回・ゴール

- (1) 周回は、湖上に設けた「周回板」の下を通過することによりカウントされます。※タッチの必要はありません。
- (2) ゴールは、湖岸寄りに設けた「ゴールタッチ板」の下部を、左右どちらかの手の平でタッチしてゴールになります。空振りの場合は戻ってタッチをしなければなりません。また、立ち止まったのタッチも認めず。
- (3) ゴール後、競技役員が「着順札」を渡します。必ず受け取ってください。
- (3) 着順札は、そのまま記録テントに持って行き、着順確認と計測バンドの返却を行います。

第4 完泳証

当日競技終了後、記録が確定した時点（異議申し立ての制限時間(30分)経過後）で、完泳された方全員に完泳証をお渡しします。郵送希望のお申し出がない限り、当方からの郵送はいたしません。郵送のご希望は別途有料（1,000円）にて賜われます。大会本部にお申し出ください

■ 注意事項 ■

- ・ 万一事故が起きても、主催者は一切責任を負いません。事故のないよう安全第一で出場するとともに、体調管理に万全を期してください。急病・傷害・死亡・器物破損・置き引き盗難等は、全て参加者の責任とします。
- ・ 参加料は、いかなる場合（申込後のキャンセル、当日の不参加、天災・災害等での途中での大会中止等）でも返却しませんので、ご了承の上お申し込みください。
- ・ 大会前日および大会当日の進行状況に関わらず、大きな事故が発生した際には、それ以降の大会を中止させて頂きますのでご了承ください。また、この場合も参加料の返却はありません。
- ・ 宿泊の予約に関しては、主催者は一切責任を負いません。予約後のキャンセルの場合、または当日不参加の場合、あるいは天災等で止むを得ず開催できない場合等の宿泊キャンセルに関しては、各宿泊施設の規定に従って頂くこととなります。
- ・ 本大会参加に関しては、自然が相手と言うこともあり十分にトレーニングを積み、事前に個人で健康診断を受診する等体調には万全の配慮で自己責任の上で出場してください。
- ・ 既往症（内臓疾患・心臓疾患・呼吸器疾患等）のある人は医師の許可を必要とします。
- ・ スポーツ中の突然死では、睡眠不足や飲酒がその原因の一つとも言われています。大会前日には十分な睡眠を取り、飲酒を控えるようにしてください。
- ・ 主催者側で参加者を対象に傷害保険に加入しますが、必要な方は、あらかじめご自分の責任で保険等にご加入してください。
- ・ 年齢・性別等の虚偽申告や申込者本人以外の出場（不正出場）は認めません。
不正出場が判明した場合、出場が取り消されるばかりでなく、今後の本大会への申込自体ができなくなる場合があります。